

T7. オンライン時代の機能性マテリアル ~beyond5G/6Gに向けて~

Functional Materials for the Online Network Era
~ toward beyond5G/6G ~

日時

2022年
3月24日(木)
13:30-17:35

新型コロナパンデミックを機に世の中はオンライン化が一気に進み、情報通信技術はもはやライフラインと言っても過言ではないほど重要になった。5Gはすでに国内でも商用サービスが始まり、世界では2030年代の普及に備えて次世代に向けたロードマップ策定が進められている。beyond5G/6Gでは5Gの発展形として超高速・超大容量・超多接続etc.を実現する技術革新が求められ、ミリ波~テラヘルツ波で高速動作するデバイスや、超低消費電力化・超高信頼性に適応可能な機能性材料・評価技術も必要になるであろう。不確定要素も多いbeyond5G/6Gではあるが、本シンポジウムが10年後を見据えた議論の場となることを期待しつつ、多数のご参加をお待ちしております。

opening remarks: 中川原修 (村田製作所)

基調講演 (40分)

◆ 有海仁章 (村田製作所)

Beyond 5Gを実現するAiMと通信モジュール技術

招待講演 (30分、講演順)

◆ 森勇介 (大阪大)

高周波デバイス高性能化に向けたGaN結晶育成技術

◆ 蔵前雅規 (株式会社リケン)

高磁化六方晶フェライトの開発とGHz電磁干渉抑制体への適用検討

◆ 鈴木健仁 (東京農工大)

メタサーフェスによるテラヘルツ波帯平面アンテナと6G通信用光源の融合に向けて

◆ 中西俊博 (京都大学)

二酸化バナジウムを用いた動的メタマテリアルのテラヘルツ領域での光学素子応用

◆ 平川一彦 (東京大)

化合物半導体MEMS共振器を用いた室温動作・高速・高感度テラヘルツ検出器

◆ 尾辻泰一 (東北大)

グラフェンのBeyond 5G超高速無線通信デバイス応用

closing remarks: 秋永広幸 (産総研)「メタバースで私たちは幸せを感じられるか？」

※敬称略

企画：機能性酸化物研究会

世話人：中川原修 (代表世話人:村田製作所)、田中秀和 (大阪大)、秋永広幸 (産総研)、組頭広志 (東北大)、松野丈夫 (大阪大)、上野和紀 (東京大)、島久 (産総研)、小塚裕介 (物材機構)